

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第37週の発生動向

トピックス

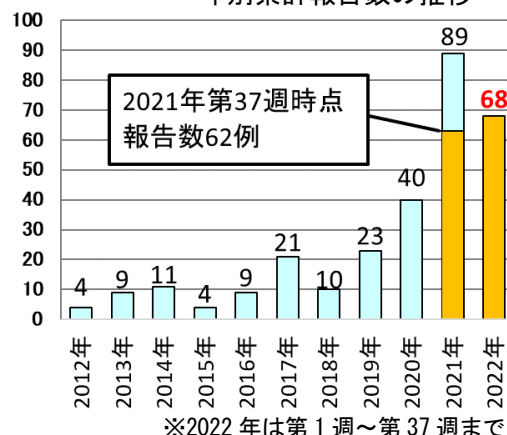
・第37週の**梅毒**(全数報告の感染症)の報告が8例と多くなっている。2022年の累計報告数が68例となり、1999年以降最も多くなった前年(89例)の第37週時点(62例)を超える報告数となっている。

性別は男性が38例、女性が30例で、年齢群別では、20歳代が全体の約4割を占めている。また、保健所別では宮崎市保健所管内からの報告が最も多く、42例となっている。

【梅毒】2022年(第1週~第37週)年齢別報告数

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
6	25	15	10	9	1	2

【梅毒】診断週による年別累計報告数の推移



・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が5,593例あり、先週(8,660例)の約0.6倍となった。2022年の累積報告数は183,790例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

全数報告の感染症 (37週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症3例。
- 4類感染症：レプトスピラ症2例。
- 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例、後天性免疫不全症候群2例、梅毒8例、百日咳2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	男	肺結核	なし
			60歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			90歳代	女	肺結核	咳
			90歳代	男	肺結核	咳、痰
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	腹痛、水様性下痢、血便、O血清群不明(VT型不明)
		日向	5~9歳	男	無症状病原体保有者	なし、O157(VT1VT2)
			5~9歳	男	無症状病原体保有者	なし、O157(VT1VT2)
4類	レプトスピラ症	宮崎市	40歳代	男	—	発熱、結膜充血、黄疸、蛋白尿、腎不全
		都城	70歳代	男	—	発熱、筋肉痛、結膜充血、黄疸、出血症状、腎不全
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	都城	70歳代	男	—	肺炎
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	30歳代	男	無症候性キャリア	なし
			40歳代	男	無症候性キャリア	なし

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
5類	梅毒	宮崎市	10歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		都城	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹
			30歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		延岡	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳
			30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
		高鍋	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹
	百日咳	宮崎市	10歳代	女	—	持続する咳
			40歳代	女	—	持続する咳

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は238人(定点当たり7.3)で、前週比108%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は特になかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

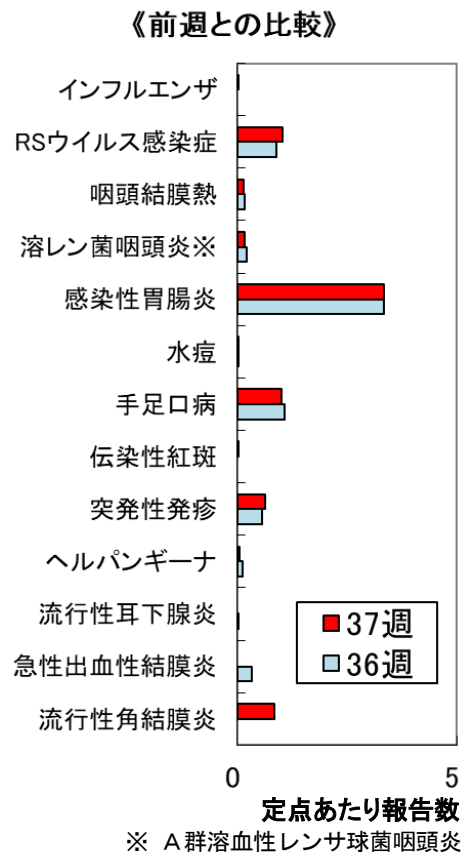
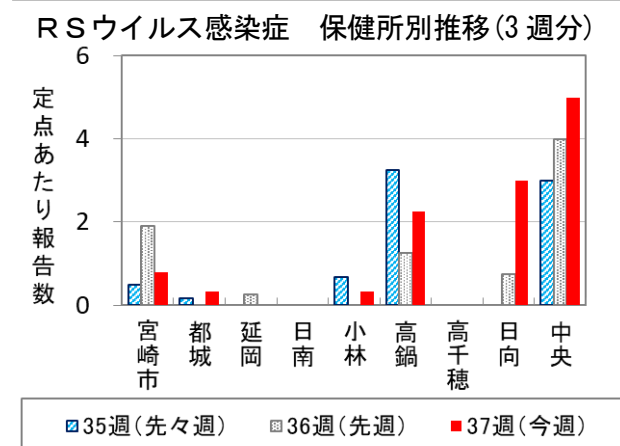
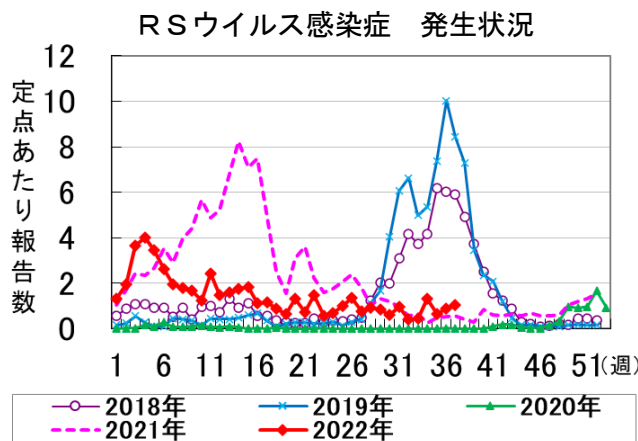
【RSウイルス感染症】

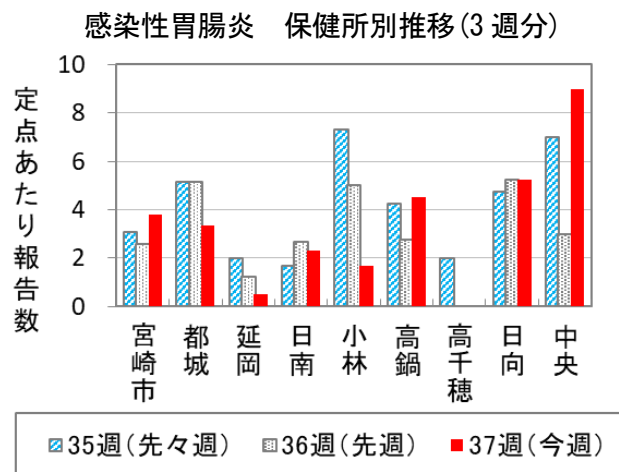
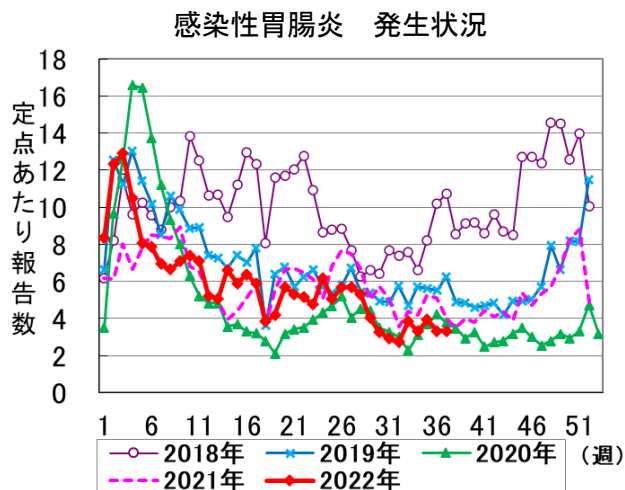
報告数は37人(1.0)で、前週比116%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.1)の約0.3倍であった。中央(5.0)、日向(3.0)、高鍋(2.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約7割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は120人(3.3)で、前週比100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(5.8)の約0.6倍であった。中央(9.0)、日向(5.3)、高鍋(4.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均





★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし

全国 2022 年第 36 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	204 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	104 例				
4類感染症	E型肝炎	10 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例	デング熱	5 例
	日本紅斑熱	13 例	マラリア	2 例	レジオネラ症	41 例
	レプトスピラ症	3 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	3 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	28 例
	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	6 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	7 例
	水痘(入院例)	1 例	梅毒	173 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	13 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 102%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、伝染性紅斑及び流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱であった。

RSウイルス感染症の報告数は4,978人(1.6)で前週比111%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.0)の約0.8倍であった。徳島県(4.7)、山口県(4.4)、香川県(3.5)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

手足口病の報告数は11,774人(3.8)で前週比101%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(1.9)の約2.0倍であった。山形県(17.9)、宮城県(12.3)、福島県(6.7)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2022年8月>

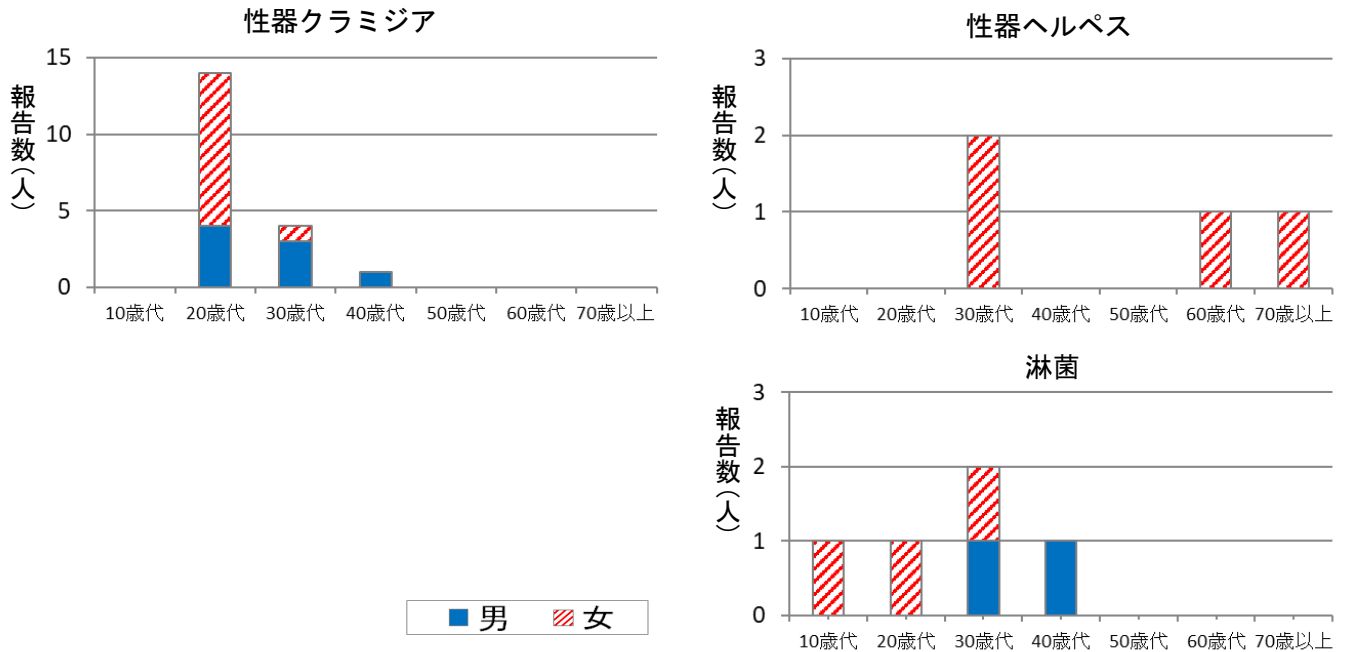
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は28人(2.2)で、前月比58%と減少した。また、昨年8月(2.9)の約0.7倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数19人(1.5)で、前月の約0.7倍、昨年8月の約1.4倍であった。20歳代が全体の約7割を占めた。(男性8人・女性11人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月の0.4倍、昨年8月の約0.2倍であった。(女性4人)
- 尖圭コンジローマ：報告なし。
- 淋菌感染症：報告数5人(0.38)で、前月の約0.5倍、昨年8月の約0.8倍であった。(男性2人、女性3人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,660人(4.8)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,519人(2.6)で前月比97%、性器ヘルペスウイルス感染症752人(0.77)で前月比99%、尖圭コンジローマ552人(0.56)で前月比106%、淋菌感染症837人(0.85)で前月比91%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は27人(3.9)で、前月比113%と増加した。また、昨年8月(1.4)の2.7倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数27人(3.9)で、前月の約1.1倍、昨年8月の3.0倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,309人(2.8)で、前月比106%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,244人(2.6)で前月比107%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症53人(0.11)で前月比85%、薬剤耐性緑膿菌感染症12人(0.03)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第37週(09月12日～09月18日)

疾病名	第36週	第37週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2					1			1	
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.17	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	32	37	8	2		1	9		12	5
	定点当り	0.89	1.03	0.80	0.33	0.00	0.33	2.25	0.00	3.00	5.00
咽頭結膜熱	報告数	6	5	2	1	2					
	定点当り	0.17	0.14	0.20	0.17	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	8	6	3				2			
	定点当り	0.22	0.17	0.30	0.00	0.00	0.33	0.50	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	120	120	38	20	2	7	5	18	21	9
	定点当り	3.33	3.33	3.80	3.33	0.50	2.33	1.67	4.50	0.00	9.00
水痘	報告数	1	1				1				
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	39	36	22	5	1	1	3			4
	定点当り	1.08	1.00	2.20	0.83	0.25	0.33	1.00	0.00	0.00	4.00
伝染性紅斑	報告数		1	1							
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	20	23	9	7	3	1			3	
	定点当り	0.56	0.64	0.90	1.17	0.75	0.33	0.00	0.00	0.75	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	2	1	1						
	定点当り	0.11	0.06	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1									
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数	2									
	定点当り	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数		5	2	2	1					
	定点当り	0.00	0.83	0.67	1.00	1.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～37週)

2類感染症	結核	84例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	43例(3)		
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	9例
	日本紅斑熱	6例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	6例
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	4例(2)
	侵襲性肺炎球菌感染症	8例	水痘(入院例)	3例
	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	4例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	183790例(5593)	つつが虫病	7例
			レプトスピラ症	3例(2)
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	6例(1)
			クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
			ジアルジア症	1例
			梅毒	68例(8)
			百日咳	13例(2)

()内は今週届出分、再掲